

- ・ マイティベース
- ・ 勇馬
- ・ マイティステップBSM II
- ・ コンスライト
- ・ コンスタワー
- ・ アップスター、SHO36
- ・ シフトステージ
- ・ リフティー
- ・ ローリングタワー

マイティベースの使い方と点検項目 CSRシリーズ

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

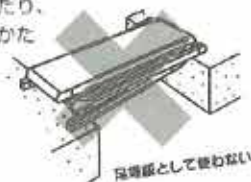
ALINCO

ご使用になる前に

足場台としての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、高い所で作業するための足場として作られた「可搬式作業台」です。

使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。



この製品は本体表示ラベルでの最大使用荷量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計重量が、最大使用荷量を超えるときは、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

作業台を加工や改造しないでください。
重大な事故を起こす恐れがあります。

使う前には必ず異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。
※右記 図面 参照

身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
 - 酒やお酒を飲んだとき
 - 病気や妊娠しているとき
 - 身体に異常を感じるとき
- 身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

変形した作業台を、使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した足場台を修理して使わず、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

運搬時は収納状態(解除)にし、確実にロックされていることを確認してください。

トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

設置する場所について

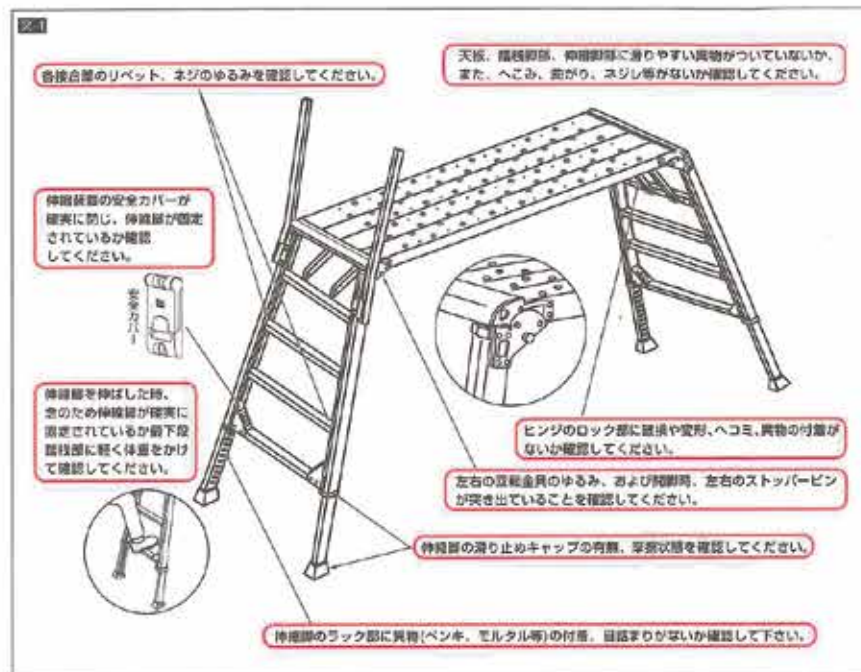
設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

作業台が安定しない場所、滑りやすい場所には、設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、作業台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- 柔らかい地面で、足場台が安定しない場所。
- 凹凸があって調節部で調節しても天板が水平にならない場所。
- 支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。



- 傾斜している地面や床。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

パイプなどが散乱したままの場所には作業台を設置しないでください。



人の出入口やドアの前には、設置しないでください。



持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

手がかり棒を持って持ち運びしないでください。乱暴に扱うと、変形やへこみ・損傷の原因になります。

マイティベース CSRシリーズ (使用上の注意事項)

作業台を組み立てる時

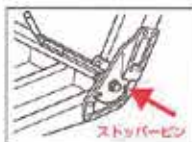
作業台を開閉するとき、可動部や回転部で、手をはさまないように注意してください。



全ての可動部、伸縮脚を確実にロックしてください。

脚を開いたとき、開き止め用ストッパーピンが、開脚固定位置で確実に突き出ているか確認してください。

突き出ていないと、脚が折りたたまれ、転落事故の恐れがあります。



開閉解除レバー(スライドロック)は、たたかないでください。

変形や破損の原因になります。



作業台を使う時

天板や踏ざんが斜めになった状態で使わない。

傾いた状態で使用すると、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



作業台を高くするために、足場台にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に寄せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。



身体の安定が得られないような荷物を持って、登り降りしないでください。

同時に2人以上乗らないでください。



天板の上に人や荷物を乗せたまま、移動しないでください。

天板の上に台や脚立などを乗せ、その上に乗って作業しないでください。



天板の端に立ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。



足場台から身体を乗り出して、作業しないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



作業中、足場台の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

作業台は静かに登り降りし、作業台の途中から飛び降りたりしないでください。



手がかり棒を持たず、作業台を背にして、登り降りしないでください。



作業台からローリングタワーや他の作業台等に移らないで下さい。



お使いになる前に、かならずお読みください。

使用上の注意事項



危険

危険

この製品は電気を通します、感電にご注意ください。

注意事項を守らないと重大な事故や製品の破損が生じる恐れがあります。

警告

一人作業でおこなうこと



警告

反力を伴う作業では使用しないで



警告

荷物をもって昇降しないで



警告

昇降は踏さんを一步ずつ



警告

昇降を背面で行わないで



警告

天板、踏さんから飛びおりたりしないで



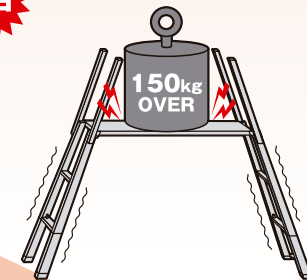
警告

身を乗り出したりしないで



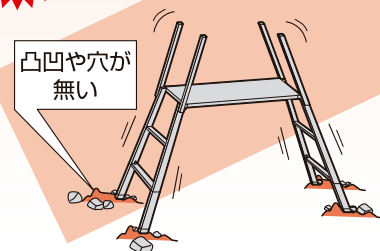
警告

150kg以上は載せないで



警告

不安定な場所や床穴類のある場所で使用しない



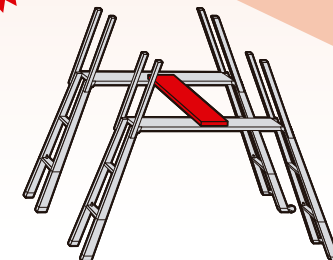
警告

踏さん上では作業しないで



警告

足場板を本体に渡して作業しないで
(専用の足場板を使用して下さい)



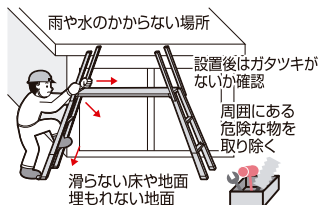
- 可搬式作業台は、正しく使われていない場合転倒や転落の危険があります。お使いになる時には本製品の安定した状態を確認してください。
- 取扱説明書は書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任は負いかねます。
- 本体を傷つけるような、乱暴な取扱いをしないでください。

※イラストは一部部品を省略しております。



設置場所について

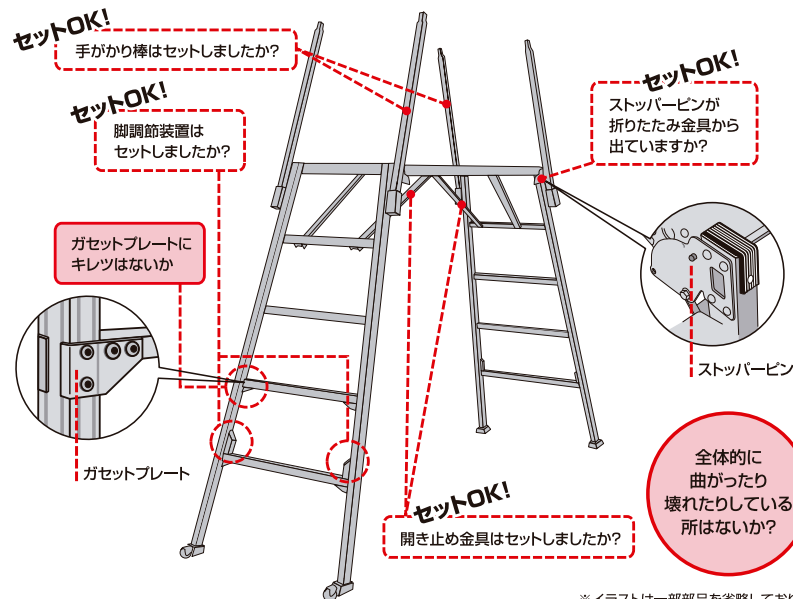
- 出入口や扉の前
- 足元や周囲の暗い場所
- 雨や風の強い場所
- 傾斜地や開口部付近
- 作業台の水平が取れない所
- 感電するので電気コードにも注意



※異常がある場合は絶対に使わないでください。

※正常に機能しない場合は絶対に使わないでください。

異常はないか
正常に機能するか



※イラストは一部部品を省略しております。

“おかしい”と思ったら機材を使わず、すぐ管理責任者へ連絡。

使用協力会社
および 管理責任者

元請電話番号
および 管理者



使用方法について

■本体

- ◎作業台の使用以外に使わないでください。
- ◎天板の上に台や、脚立、はしごなどを乗せて使用しないでください。
- ◎天板の端で作業は行わないでください。
- ◎天板の上に荷物を乗せたまま伸縮脚の高さ調整を行わないでください。
- ◎つま先立ちや片足で作業を行わないでください。
- ◎天板での作業で上ばかりに気を取られて足を踏み外さないでください。
- ◎階段部を折りたたんだ状態で使用しないでください。

■セーフティガード、補助手すり設置時

- ◎セーフティガードや補助手すりに安全帯などをかけないでください。
- ◎セーフティガードや補助手すりに過大に体重をかけると本体が転倒する恐れがあります。

お願い

◎毎日行っていたきたいこと

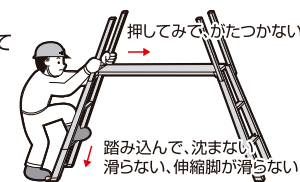
安全に作業を行っていただくために、
使用前に必ず以下の内容の確認を行ってください。

- 「ご使用前の点検」(日常点検) ※表面にイラスト掲載しています。不具合箇所の早期発見をお願いします。「おかしい」と思ったときはすぐに管理者の方へ連絡してください。
- 「使用上の注意事項」の確認 ※これらは表面にイラスト掲載しています。
- 「勇馬」をお使いになる時、必ず守っていただきたい内容。
- 「体調チェック」体調不良の時な使用しないでください。

◎天板への登り降りは正しく行いましょう

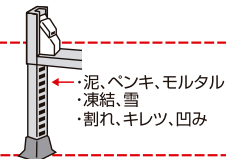
最も多い事故は「転落・墜落」。

- 天板への登り降りは、手がかり棒(勇馬-14, 18)を持って両手を使い正しく昇降しましょう。
- 「勇馬」にガタツキがないかチェックして登ってください。
- 滑りやすい履物での昇降などは行わないでください。
- 「勇馬」の昇降は、かならず床面から行ってください。
- 手がかり棒には、寄りかからないでください。



◎すぐに取り除いて下さい

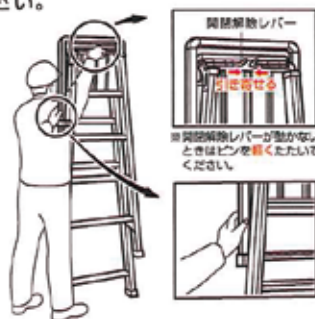
天板や伸縮脚ラック部に泥等の付着や目詰まりがあれば、すぐに取り除いてください。また、伸縮脚ラック部の付着や目詰まりが取れない場合は絶対に使わないでください。



伸縮脚式折りたたみ作業台CSFR-S 組立要項

1. 作業台の開きかた

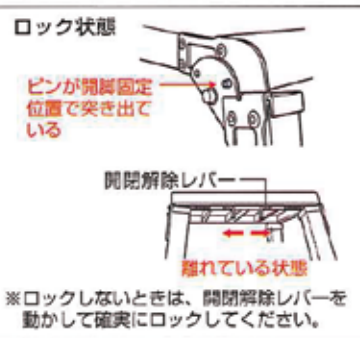
- ① 下図のように作業台を持って、開閉解除レバーを引き寄せロックを解除してください。



- ② 次に解除された状態で天板を開きながら、作業台を開いてください。



- ③ 作業台を開くと、カチッと音が出て、開閉解除レバーが自動的にロックします。



- ④ 手掛かり棒を引き上げてください。

2. 作業台の閉じかた

- ① 右図のように作業台を持って、開閉解除レバーを引き寄せロックを解除してください。



- ② 次に解除された状態で天板を持ち上げて閉じてください。



- ③ 作業台を閉じると、カチッと音が出て、開閉解除レバーが自動的にロックします。



警告

- 作業台を開閉するとき、可動部や回転部で手をはさまないように注意してください。



- 脚を開いたとき、開閉解除レバーの先端が、開脚固定位置で突き出ているか確認してください。突き出ていないと、転落事故の恐れがあります。



注意

- 開閉するときは、開閉解除レバーのロックを確実に解除してください。解除せずに開閉すると、変形や破損の原因になります。

3. 伸縮脚の調節のしかた

伸ばしかた

- ① 片方の脚部の左右にある安全カバーを開け、操作レバーを押し上げて、脚部を地面から持ち上げてください。



- ② 希望の長さまで伸縮脚が伸びたところで、操作レバーから手を離し、ロックしてください。



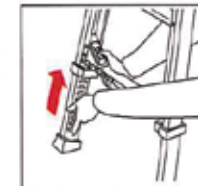
- ③ 反対の脚部も同じように伸縮脚を希望の長さまで伸ばしてください。

- ④ ガタツキを取り除き、天板や踏みざんが水平状態になっていることを確認したうえで、4箇所の操作レバーがロックされているか確認し、安全カバーを確実に閉じてください。



縮めかた

- ① 片方の脚部を地面から離して、左右にある安全カバーを開けてから、操作レバーを押してください。



- ② その状態で左右の伸縮脚を縮めて、操作レバーがロックされていることを確認し、安全カバーを確実に閉じてください。

- ③ 反対の脚部も同じように伸縮脚を縮めてください。

- ※操作レバーがロックされていないと安全カバーを閉じることはできません。

- ※収納時は、必ず伸縮脚を縮めてください。伸縮脚の破損、曲がりの原因となります。

警告

- 天板面が水平になるように伸縮脚を調節してください。



- 天板が傾斜した状態では、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

4. 手掛かり棒の操作方法

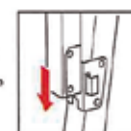
- ① 本体支柱にある手掛り棒固定金具の操作レバーを押し、手掛り棒を下げてください。



- ② 手掛り棒を矢印の方向に回転させ、脚と平行になる位置まで持ち上げてください。



- ③ 手掛り棒裏のロックピンを固定金具の溝に差し込み、ロックしてください。



収納方法

- ① 操作レバーを押しながら手掛り棒を引き上げる。
- ② 操作方法の②の逆操作を行う。
- ③ 手掛り棒裏のロックピンを固定金具の溝に引き上げ差し込む。

伸縮脚式折りたたみ作業台CSFR-Sの使いかたと点検項目

設置する場所について

- 作業台が安定しない場所や、埋もれる場所、すべりやすい場所に設置しないでください。
- 伸縮脚で調節しても作業台の天板が、水平に保たれない場所に設置しないでください。

ご使用前の点検

- 作業台のご使用前には、必ず下記の項目を点検してください。
 - ①天板、踏さんにグリースや油など滑りやすいものがついていないか確認してください。
 - ②支柱、踏さん、天板、上枠等に曲がり、へこみ、ネジレ等がないか確認してください。
 - ③各接合部のリベット、ネジ、ピン、ボルトにゆるみや脱落、変形、摩耗、いちじるしい腐食がないか確認してください。
 - ④支柱と踏さんの接合部に亀裂、ひび割れ、外れがないか確認してください。
 - ⑤左右のヒンジ(回転金具)にゆるみやガタツキがないか確認してください。
 - ⑥脚ゴムがすり減っていたり、外れていないか確認してください。

伸縮装置・伸縮脚部の点検

- ①伸縮装置にへこみなどの破損がないか確認してください。
- ②伸縮脚にへこみ、曲がり、ネジレ等がないか確認してください。
- ③伸縮脚に泥やセメント等の異物が付着していないか確認してください。
- ④伸縮脚のラック形状に欠け、摩耗、凹みがないか確認してください。
- ⑤伸縮脚を伸ばした時、念のため伸縮脚が確実に固定されているか、最下段の踏さんに軽く体重をかけて確認してください。
- ⑥脚ゴムの有無、摩擦状態を確認してください。



上記項目において、異常が見受けられた場合、使用しないでください。その他、使用上の注意点は取扱説明書を必ず読み、正しくお使い下さい。



お使いになる前に、かならずお読みください。

使用上の主な注意事項



危険

この製品は電気を通します、感電にご注意ください。



注意事項を守らないと重大な事故や製品の破損が生じる恐れがあります。

※イラストは一部部品を省略しております。
※詳しい取扱説明書をお読みください。

お使いになる前に、お確かめください

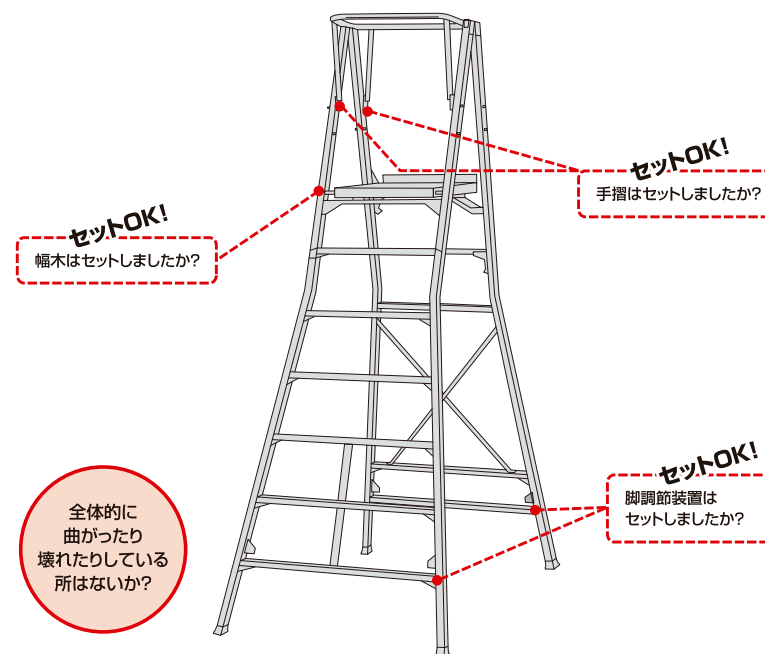
ご使用前の主な点検ポイント

※異常がある場合は絶対に使わないでください。

※正常に機能しない場合は絶対に使わないでください。

異常はないか

正常に機能するか



“おかしい”と思ったら機材を使わず、すぐ管理責任者へ連絡。

使用協力会社
および 管理責任者

元請電話番号
および 管理者

株式会社 ナカオ



お使いになる前に、かならずお読みください。

使用上の注意事項



危険

この製品は電気を通します、感電にご注意ください。



警告

本製品には安全帯をかけないでください。
反力を伴う作業では使用しないでください。

注意事項を守らないと重大な事故や製品の破損が生じる恐れがあります。 ※イラストは一部部品を省略しております。

お使いになる前に、お確かめください

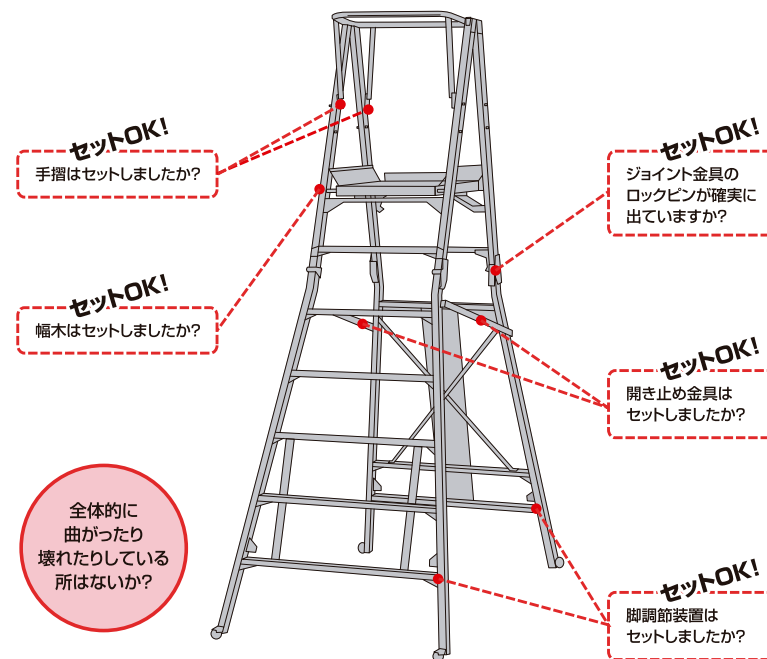
ご使用前の点検

※異常がある場合は絶対に使わないでください。

※正常に機能しない場合は絶対に使わないでください。

異常はないか

正常に機能するか



“おかしい”と思ったら機材を使わず、すぐ管理責任者へ連絡。

使用協力会社
および 管理責任者

元請電話番号
および 管理者

株式会社 **ナカオ**

作業の省力化・効率化に適した昇降式移動足場 **アップスター**

使用上のご注意

US- 25S、25SU
US- 36S、36SU

使用前に必ずお読み下さい。 製造元：日鐵住金建材株式会社

- ①組立作業主任者（指揮者）は、作業員の保護帽の着用等安全服装を確認の上、作業内容・安全上の諸注意を説明し徹底させて下さい。
- ②使用場所の平坦度、水平、及び上部空間の安全性を確認し、**水平な場所**で使用して下さい。
- ③組立・解体手順を必ず守って下さい。
- ④最大積載荷重 **1310N（133kgf）**以下（作業員を含む）で使用して下さい。
- ⑤不意の移動・転倒防止のため、車輪はすべて**ブレーキを効かせ**、アウトリガーは必ず**正規の方向に広げて**使用して下さい。
- ⑥人を乗せたまま、移動させないで下さい。又、移動する際は原則として作業床を最低の高さまで下降してから行って下さい。
- ⑦複数のアップスターを併置し、その上に足場板等を掛渡して作業床として使用しないで下さい。
- ⑧作業を安全に行うため、作業に必要な照度を確保して下さい。
- ⑨本体吊り上げ時は、車輪の抜け止め防止用の**ボルトを必ず確実に締め付けて**下さい。
- ⑩本体吊り上げ時は作業床を下げ、必ず**下部フレーム**にナイロンスリングを掛けて下さい。
- ⑪上昇・下降操作は、組立手順にも記載の通り、**固定側（「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側）**にて必ず操作を行って下さい。上昇・下降の際は、スライド枠等の作動部に**手を挟まれないよう**ご注意下さい。
[スライド側にて誤って下降操作を行った場合、スライド材がスムーズに降下せず、さらに無理な力を加えますと、スライド材が変形する恐れがあります。]
- ⑫手摺柱は、蝶ボルトにて**必ず固定**して下さい。
- ⑬作業床への昇降にはタラップを利用し、リトラクタ式墜落阻止器具等をご使用下さい。（墜落阻止器具は手摺柱の根元付近、または中棧手摺（手摺材Ⅰ、Ⅲ）直上の手摺柱に取り付けて下さい）
- ⑭**目的外の用途**には使用しないで下さい。
[作業台の上で脚立・梯子等を使用しないで下さい。又、手摺・巾木等に足をかけて作業しないで下さい。手摺・巾木等が曲がる恐れがあり大変危険です。]

★ 主な仕様

品番	作業床寸法	作業床高さ（mm）	自重	最大積載荷重
US-25S US-25SU	幅 590mm	950、1510、2100、2560	143kg	1310N (133kgf)
US-36S US-36SU	長さ 1500mm	1370、1930、2510 3090、3600	192kg	

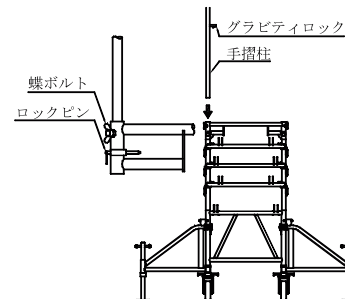
会 社 名	
使用責任者	

アップスター の組立・解体手順

手順書内の図は US-36S を表しています

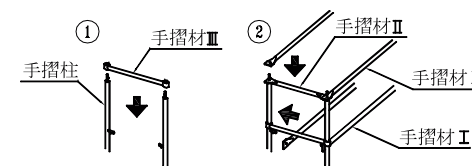
1. 手摺柱の取り付け

グラビティロックが内側方向を向くように、作業床の四隅に差し込み、ロックピンで固定します。



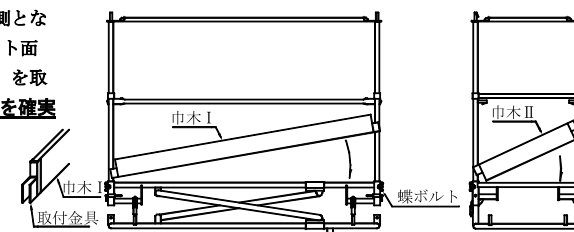
2. 手摺材の取り付け

裏面の手摺材Ⅲ（メガネタイプ）を手摺柱に差し込み、続いて手摺材Ⅱを取り付けます。最後に手摺材Ⅰを4本（上棧・中棧）セットします。



3. 巾木の取り付け

巾木Ⅰ（長い方）を取付金具が下側となるように取り付けます。（フラット面が外側） 続いて巾木Ⅱ（短い方）を取り付けた後、**手摺柱の蝶ボルトを確実に締め付けます。**

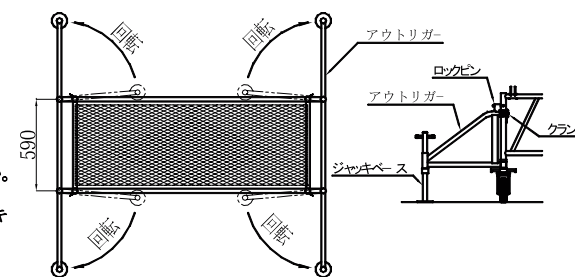


4. アウトリガー の設置

- ① アウトリガー を**アップスターの長手方向と垂直（アウトリガー ロックピンが作動する位置）**になるよう回転させ、**アウトリガー のクランプを確実に締め込み**固定します。（注：アウトリガー ロックピンは US-36 のみの仕様）

- ② 平坦かつ水平な場所で使用して下さい。

- ③ 転倒防止の為、アウトリガーのジャッキベースを接地させます。（アウトリガーは**転倒防止を目的**としています。）

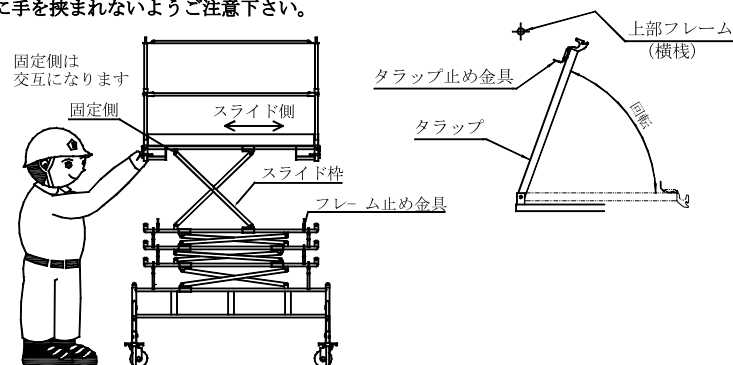


※裏面も必ずお読み下さい。

5. 1 段目の上昇

① 1 段目のフレーム止め金具(左右各2ヶ所)を外し、上部フレーム(作業床)を持ち上げて下さい。上昇(下降)操作は、スライド枠の固定側(「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側)にて必ず操作して下さい。下降時、作動部等に手を挟まれないようご注意ください。

② 折り畳んだ左右のタラップを起し、上部フレームの横桟に合わせ、先端のタラップ止め金具(左右2ヶ所)を締め付けます。



6. 2 段目以降の上昇

1 段目と同様にフレーム止め金具を外し、中間フレームを持ち上げてから左右のタラップを起し、先端のタラップ止め金具を締め付けます。

上昇(下降)操作は、スライド枠の固定側にて必ず操作して下さい。

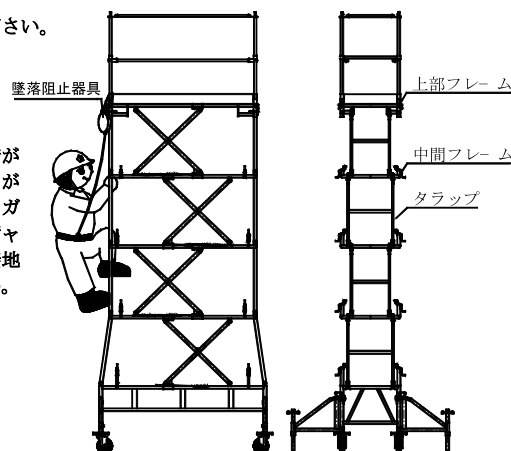
7. 組立完了

作業床への昇降は、タラップを利用し、リトラクタ式墜落阻止器具等をご使用下さい。

(落下阻止器具は手摺柱の根元付近、または中棧手摺(手摺材Ⅰ、Ⅲ)直上の手摺柱に取り付けて下さい)

昇降の際は手・足元にご注意下さい。

※昇降の際は、必ず車輪4点に荷がかかっている事、アップスターが水平になっている事、アウトリガーが確実に固定された状態でジャッキベースが地面(躯体)に接地している事等を確認して下さい。



8. 横移動

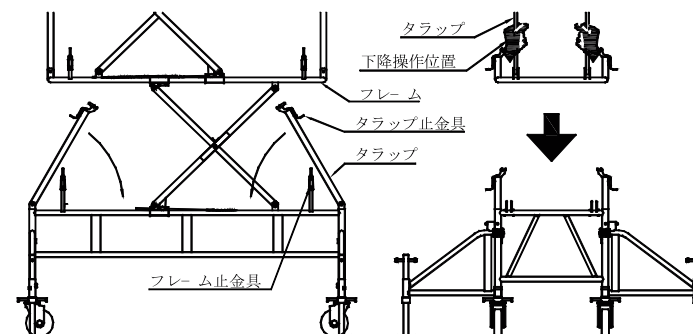
横移動は、原則として作業床を最低高さまで下げ、ジャッキベースを上げた後、キャスターのブレーキを解除してから所定の位置に移動します。
人を乗せたまま、移動させないで下さい。

9. 解体手順

(1) 最下段・中間フレームの下降

① 最下段のタラップ止め金具を外し、内側へ折り畳みます。

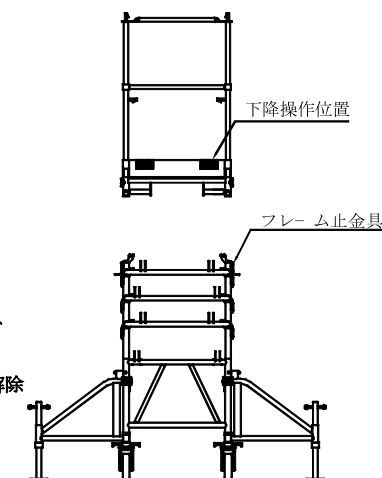
② フレームの「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側のタラップ部を持って下降させます。下降後は、フレーム止め金具を確実にセットして下さい。



(2) 上部フレーム(作業床)の下降

① タラップ止め金具を外し、タラップを内側に折り畳みます。

② 「操作時は必ずここを持って操作して下さい」シール貼付側の巾木上部を持って下降させます。下降後はフレーム止め金具を確実にセットして下さい。



(3) アウトリガーの収納

アウトリガーのジャッキベースを上げ、アウトリガーのクランプを緩め収納して下さい。

(注: US-36Sは位置決め用ロックピンを解除してから収納して下さい)

仮設工業会認定品
昇降式移動足場

SHO-36

PAT.P



製造元

MALS

株式会社 マルサ

使用上のご注意 使用前に必ずお読み下さい。

1 SHO-36ご使用について

- 作業には、安全な使用ができるよう事前に指導しておくこと。
- 複数の人数で使用する場合は、作業主任者を選任し、その者に作業を指揮させること。
- 作業中は保護帽を着用すること。また、安全帯使用を命ぜられた場合は安全帯を使用すること。
- 作業中に関係者以外が作業区域内に立ち入ることによる危害を防止するため、その周辺には柵、囲い又は標識等により立ち入り禁止区域を明示すること。
- 作業を安全に行なうため、作業に必要な照度を確保すること。
- 作業床から直接、他の場所へ乗り移らないこと。 ● 作業床上では、脚立、梯子等を使用して作業しないこと。
- 手摺杵、巾木、さん、扉に乘ったり寄りかかったりしないこと。
- 複数のSHO-36を併設し、その上に足場板等を掛渡して作業床として使用しないこと。
- 目的外の用途には使用しないこと。 ● むやみに分解・組立てをしないこと。
- その他、労働安全衛生法に準ずること。

2 SHO-36の移動

- 作業床を最低の高さに下降させた状態で移動すること。 ● 作業者を乗せたまま移動しないこと。
- 事前に、床面の凹凸、障害物等の状態を確認し、移動中の転倒を防止すること。

3 SHO-36の設置

- 平坦かつ水平な場所で使用すること。
- 不意の移動を防止するためブレーキ、アウトリガー又はジャッキ等を確実に使用すること。

4 SHO-36の積載

- 最大積載荷重の表示を確認し、これを超えないこと。
- 転倒防止のため、材料等を載せるときは、重さに偏りがないように配慮すること。
- 手摺杵、巾木、さん、扉に荷を乗せたり、荷重をかけないこと。

5 SHO-36の輸送

- キャスターのブレーキをしっかりとかけられていること。 ● アウトリガーをしっかりとっていること。
- 手摺杵がSフックでしっかり固定されていること。 ● 扉が手摺杵にしっかり固定されていること。
- 輸送の際に、強い振動がかかることが考えられる場合は、本体及び手摺杵や扉をロープ等で、しっかり固定する事。



禁止・注意

－ 事故やけが防止のための重点事項 －

- 積載荷重以内で使用する事。
- 不意の移動や転倒防止のため、車輪はすべてブレーキを効かせ、アウトリガーは必ず正規の方向に広げて使用する事。
- 人を乗せたまま、移動しないこと。 ● 上昇時又は下降時、可動部に手等絶対触れないこと。

仕様

作業床寸法	幅592mm×長さ1300mm
手摺高さ	907mm
作業床高さ (5段階)	3600mm 3060mm 2510mm 1960mm 1400mm
最大積載荷重	125kg(作業者含)
製品重量	約210kg
昇降方式	手動式(リネバランス式)
表面処理	溶融亜鉛メッキ
キャスターサイズ	φ150(ストッパー付)

会社名	
使用 責任者	

組立

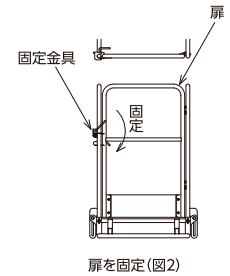
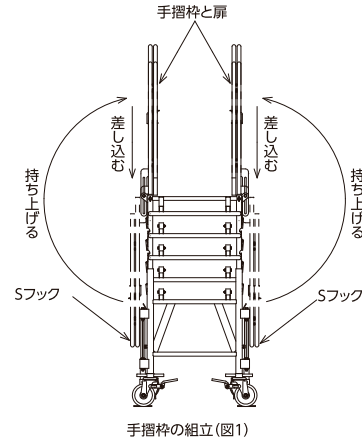
1 組立前の注意事項

- 組立作業主任者は、作業員の保護帽の着用等安全な服装を確認のうえ、作業内容及び安全上の注意事項等を説明し徹底させて下さい。
- 使用場所の平坦及び、上空空間の安全性を確認し、使用高さ(1400、1960、2510、3060、3600mm)を決定して下さい。

2 組立手順

1. 手摺杵の組立

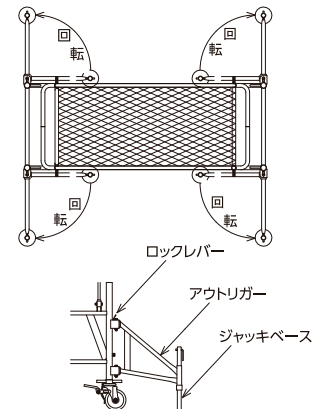
- ① Sフックを解除し、本体についている手摺杵を手前より持ち上げて差し込み、蝶ボルトで固定して下さい。2面同じ方法で組立てて下さい。(図1)
- ② 扉を閉め、金具で固定して下さい。(図2)



2. アウトリガーの設置

アウトリガーは、転倒防止を目的としています。
図の状態にして必ずご使用下さい。

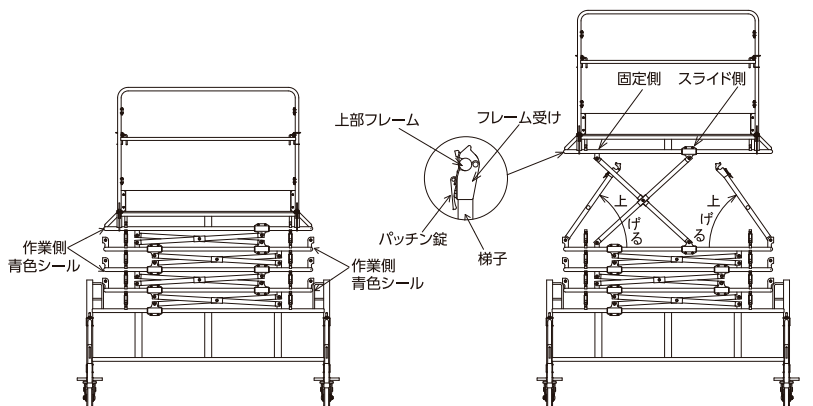
- ① アウトリガーのロックレバーを解除し、ロックレバーが作動する位置方向に回転させ、広げた状態にします。
アウトリガーを収納する時は、ロックレバーを解除して、回転させて下さい。
- ② 本体が水平となるように、4本のジャッキで調節して下さい。



3.1 段目の上昇(降下は逆手順)

- ①1段目のパッチン錠4箇所を外し、上部床面を持ち上げて下さい。パネにより、軽い力で持ち上げることができます。
上昇作業は、スライド枠の「こちら側から作業して下さい」シールが貼付してある固定側を持って作業して下さい。反対側は補助のみ行って下さい。
- ②本体内侧に折りたたんだ左右の梯子を起こし、フレーム受けを上部フレームに隙間がないようにセットし、パッチン錠左右各2箇所を確実に留めて下さい。

- !** 注意
- 上記シールの反対側で作業をするとスライド枠が変形する恐れがあります。
 - 梯子より外側を持つと手を挟まれことがあります。
 - 上昇の際勢いよく上げると頭をぶつけることがあります。
 - 上部フレームとフレーム受けのセットが不十分だと、パッチン錠が変形する恐れがあります。



4.2 段目の上昇(降下は逆手順)

- 1段目と同様にパッチン錠4箇所を外し、フレームを持ち上げてから左右の梯子を起こし、梯子の先端のパッチン錠左右各2箇所を留めて下さい。
- 上昇作業はスライド枠の「こちら側から作業して下さい」シールが貼付してある固定側を持って作業して下さい。反対側は補助のみ行って下さい。

- !** 注意
- 上記シールの反対側で作業をするとスライド枠が変形する恐れがあります。

5.3 段目、4段目の上昇(降下は逆手順)

2段目の上昇と同様に組立てて下さい。

6. 作業床への乗り降り

- 作業床への乗り降りは梯子を利用し、リトラクタ式墜落防止器具等を使用して下さい。
- 落下阻止器具は手摺枠の柱に取付けて下さい。
- 扉開閉の際は十分注意し、作業床への乗り降り時以外は閉めて固定して下さい。
車輪4点に荷重がかかっていること。本体が水平になっていること。アウトリガーが確実に固定されジャッキベースが地面や床に着いていること。

7. 横移動

- 原則として作業床を最低の高さまで下げてから、アウトリガーのジャッキベースを上げて下さい。
- アウトリガーのロックレバーを緩めてからアウトリガーを折りたたみ、キャスターのブレーキを解除し移動して下さい。
移動に関しては、天井等上空空間の安全を確認して行なって下さい。
- 絶対に人を乗せたまま移動させないで下さい。

8. 注意事項

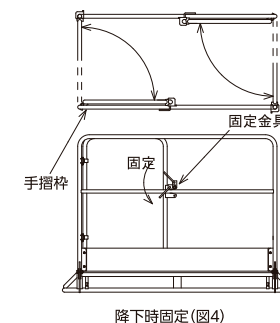
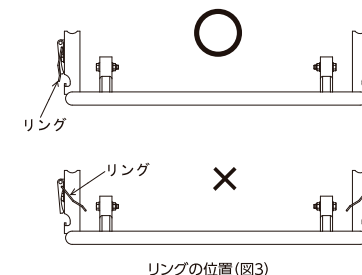
上昇及び降下時は、可動部、受け金具等を指や手で触れないで下さい。指詰め等発生の危険があります。

3 収納手順

収納手順は、組立作業の逆の手順で行います。

!

- 注意
- 下降する時はパッチン錠のリングが外側に来るようにして下さい。
内側に入る込むとパッチン錠を止めることができなくなります。(図3)
 - 収納時扉は手摺枠に固定して下さい。(図4)



シフトステージ M型 取り扱い組立方法

必ずお二人で取り扱うようお願い致します。
ステージを横から開かないで下さい。

- ① 安全の為、
車輪の
ストッパーを
ロックして
組み立てて
下さい。



- ② 中央の
ロックピンB
(4カ所)を
引いて90°
回し、
フリーの状態に
して下さい。



ロックピンB



- ③ 天板開き
防止レバーを
はずし、
天板部とバーを
持ってゆつくりと
手前に引いて
止めて下さい。



※図の箇所を持つようにして下さい。

天板部
バー



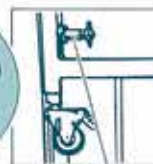
- ⑤ 中央部の取手を
持ち、天板が
水平になる様
に持ち上げ、
ロックピンB
をロックして
完了です。
(ロックしたら「カチン」
と音がします。)



ロックピンB



- ④ バーを持ったまま
持ち上げ、
ロックピンA
を引いて、
所定の高さに
合わせて
ロックします。



ロックピンA



解体するときは逆の手順で行って下さい。

シフトステージを安全に使うための注意



① 図の赤の部分は
持たないで下さい。



② 横から開く事は
絶対にしないで下さい。



③ 移動する時は天板開き防止レバー
を必ずロックして下さい。

- 必ず2人1組で取り扱って下さい。
- 使用時は車輪のストッパーは必ずロックして下さい。
- 水平面で全ての車輪が地面についた状態で使用して下さい。
- ロックピンのはめ込みを確認して下さい。
- 足場以外の目的に使用しないで下さい。

安全荷重は**180kg**です。

調節可能な高さ					
L 	①	750m/m	M 	①	600m/m
	②	900m/m		②	750m/m
	③	1050m/m		③	900m/m

●お問い合わせ先



菅機械工業株式会社

大 阪 支 店 TEL 06(6541)7936
東 京 支 店 TEL 03(5296)0551
福 岡 支 店 TEL 092(431)7193
名古屋営業所 TEL 052(653)2491

シフトステージ

L 型

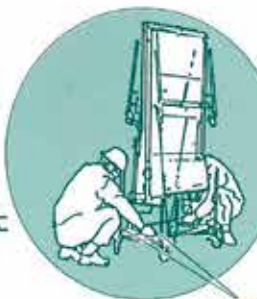
取り扱い組立方法

必ずお二人で取り扱うようお願い致します。
ステージを横から開かないで下さい。

- ① 安全の為、
車輪の
ストッパーを
ロックして
組み立てて
下さい。



- ② 中央の
ロックピンB
(4カ所)を
引いて90°
回し、
フリーの状態に
して下さい。



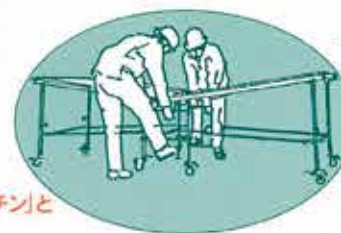
ロックピンB



- ③ 天板開き
防止レバーを
はずし、
天板部とバーを
持ってゆっくりと
手前に引いて
止めて下さい。
(約45°の角度で
止まります。)



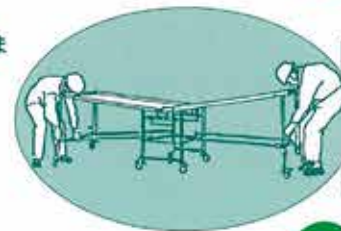
- ⑥ 中央部の取手
を持ち、天板が
水平になる様
に持ち上げ、
ロックピンB
をロックして
完了です。
(ロックしたら「カチン」と
音がします。)



ロックピンB



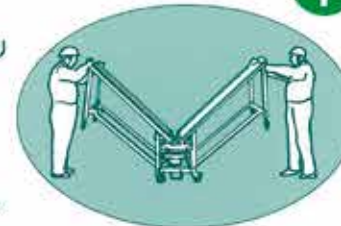
- ⑤ バーを持ったまま
持ち上げ、
ロックピンA
を引いて、
所定の高さ
に合わせて
ロックします。



ロックピンA



- ④ 一時停止状態より
天板部を持って
安全を確認
しながら
二人同時に
ゆっくりと
降ろして下さい。



解体するときには逆の手順で行って下さい。

シフトステージを安全に使うための注意



① 図の赤の部分は
持たないで下さい。



② 横から開く事は
絶対にしないで下さい。



③ 移動する時は天板開き防止レバー
を必ずロックして下さい。

- 必ず2人1組で取り扱って下さい。
- 使用時は車輪のストッパーは必ずロックして下さい。
- 水平面で全ての車輪が地面についた状態で使用して下さい。
- ロックピンのはめ込みを確認して下さい。
- 足場以外の目的に使用しないで下さい。

安全荷重は**180kg**です。

調節可能な高さ					
L 	①	750m/m	M 	①	600m/m
	②	900m/m		②	750m/m
	③	1050m/m		③	900m/m

●お問い合わせ先



菅機械工業株式会社

大 阪 支 店 TEL 06(6541)7936
東 京 支 店 TEL 03(5296)0551
福 岡 支 店 TEL 092(431)7193
名古屋営業所 TEL 052(653)2491

シフトステージ LL型 取り扱い組立方法

必ずお二人で取り扱うようお願い致します。
ステージを横から開かないで下さい。

- ①安全の為、
車輪のストッパー
をロックして
組み立てて
下さい。



- ②天板をささえ
ながら天板開き
防止レバー
(黄色)を解除
します。



- ③天板部AとバーBを
持って手前に
引くように
ゆっくりと
降ろして下さい。



※図の箇所を持つようにして下さい

- ④補助脚の高さ調節をします。ロックピンAを
引いて90°回し、フリーの状態にします。



- ⑦高さ1500を超える
場合は補助脚にあ
る、ぶれ止めをし
めて下さい。

- ⑥中央部を持ち上げます。
ロックピンBを引いて
90°回しフリーの状態にし、
赤いハンドルノブを持ち
天板が水平になるまで
持ち上げロックピンBを
引いて90°回して戻し
ロックします。

ロックしたロックピンBが
抜かれます

- ⑤天板部Aを持って持ち
上げ高さ調節目盛りに
合わせてロックピンA
を引いて90°回して
戻しロックします。



解体するときには逆の手順で行って下さい。

シフトステージを安全に使うための注意



① 図の赤の部分は持たないで下さい。



② 図の様な開き方は絶対にしないで下さい。

- 必ず2人1組で取り扱って下さい。
- 車輪のストッパーは必ずロックして下さい。
- 水平面で全ての車輪が地面についた状態で使用して下さい。
- ロックピンのはめ込みを確認して下さい。
- 足場以外の目的に使用しないで下さい。

調節可能な高さ

- ① 1,150m/m
- ② 1,250m/m
- ③ 1,350m/m
- ④ 1,500m/m
- ⑤ 1,650m/m
- ⑥ 1,800m/m
- ⑦ 1,950m/m

● 安全荷重は**150kg**です。

● お問い合わせ先



菅機械工業株式会社

大阪支店 TEL 06(6541)7936
東京支店 TEL 03(5296)0551
福岡支店 TEL 092(431)7193
名古屋営業所 TEL 052(653)2491

月度

マイティベース使用前点検表

No 1

作業所

点検項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
各接合部のリベット・ネジの緩みがない。															
伸縮装置の安全カバーが確実に閉じ、伸縮脚が固定されている。															
伸縮脚を伸ばした時、軽く体重をかけたが固定されている。															
伸縮脚のラック部に異物の付着・目詰まりがない。															
スライドガイド(主脚の端部)があり、伸縮脚の摩擦も問題ない。															
左右の回転金員の緩み・ガタツキがない。															
開脚時(設置状態)、回転金員の左右の穴からストッパーピンが突き出ている。															
プレスピンジのロック部に、破損や変形・へこみ・異物の付着がない。															
天板・踏み板(主脚)・伸縮脚部に滑りやすい異物の付着がない。															
天板・踏み板(主脚)・伸縮脚部にへこみ・曲り・ネジレ等がない。															
点検者サイン															

備考・指摘事項記入欄

月度

マイティベース使用前点検表

No 2

作業所

点検項目	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
各接合部のリベット・ネジの緩みがない。																
伸縮装置の安全カバーが確実に閉じ、伸縮脚が固定されている。																
伸縮脚を伸ばした時、軽く体重をかけたが固定されている。																
伸縮脚のラック部に異物の付着・目詰まりがない。																
スライドガイド(主脚の端部)があり、伸縮脚の摩擦も問題ない。																
左右の回転金員の緩み・ガタツキがない。																
開脚時(設置状態)、回転金員の左右の穴からストッパーピンが突き出ている。																
プレスピンジのロック部に、破損や変形・へこみ・異物の付着がない。																
天板・踏み板(主脚)・伸縮脚部に滑りやすい異物の付着がない。																
天板・踏み板(主脚)・伸縮脚部にへこみ・曲り・ネジレ等がない。																
点検者サイン																

備考・指摘事項記入欄

アップスター一点検表

[illegible]

注意) この点検は、今後の安全を保証するものではありません。

製造元：日鐵住金建材株式会社

【 組立手順 】

1. 収納状態



2. 固定ベルトの解除



3. ロックレバーの解除



収納フック

4. 階段枠を開く

ロック時はO部を少し持ち上げてください



5. ロックピンの確認



ピンが出ているか確認

6. 片側階段枠を起こす

天板がセットされているか確認



7. 巾木をセット(左右)

ピンが飛び出しているか確認



8. 手摺をセット

フックの確認(4箇所)



9. 背面側階段枠をセット

ロックピン

起こす



10. ロックピンの確認



ピンが出ているか確認

11. 開き止めをセット(左右)



開き止めセット位置よりも下側の支柱を押しながら

12. 完成



【操作時の注意点】

階段枠のロックピン解除方法

手摺枠部の支柱間で手を挟まないように注意してください



ロック
(使用時)



解除
(折畳み時)



不完全
(昇降禁止)



シフトステージ 3L 組立手順



1

○本体キャスター(4カ所)をロックする。



2

○3→2→1の順に手摺を展開し各部ロックする。
○収納する時は1→2→3の順にたたんで下さい。



3

○本体フレームと天板のロックピンをはずす。
○天板を左右から持ち上げる。
○最上部まで上がると天板は自動的にロックされます。



4

○外脚を矢印の方向に引き出してください。
○外脚の内管を天板の内管受けに差し込みます。



5

○外脚内管と天板の内管受けをロックピンで固定(4カ所)



6

○天板を持ち上げて外脚内管上部から2番目の穴位置にロックピンを差し込む(4カ所)



7

○安定バーを矢印の方向に展開しロックピンで固定。



8

○天板ロックバーをスライドさせて天板を固定する。天板ロックバーは片側だけです。
○ノブボルトを締めてください



9

○外脚のキャスター(4カ所)をロックして完成です。



10

次に高さ調整(せり上げ)の手順です。

○6カ所(本体フレーム2カ所、外脚4カ所)のロックを解除してください。
○昇降用ハンドルとスライド梯子(手前)を同時にもちあげてください。
○任意の位置で再び本体フレームのロックピン(2カ所)を入れてください。

スライド梯子

昇降用ハンドル



11

○外脚のロックピン(4カ所)を固定してください。
○単独でご使用になる場合はアウトリガーを張り出してください。

○収納する時は逆の手順になります。

動画でご覧になりたい方はこちらのQRコードをご使用下さい




○外脚のキャスター(4カ所)をロックして完成です。

ここまでの組立作業時間は2人で約2分です。

次に高さ調整(せり上げ)の手順です。

○6カ所(本体フレーム2カ所、外脚4カ所)のロックを解除してください。
○昇降用ハンドルとスライド梯子(手前)を同時にもちあげてください。
○任意の位置で再び本体フレームのロックピン(2カ所)を入れてください。

○外脚のロックピン(4カ所)を固定してください。
○単独でご使用になる場合はアウトリガーを張り出してください。

○収納する時は逆の手順になります。

動画でご覧になりたい方はこちらのQRコードをご使用下さい

SUGA
スガキカイ

点検表

車体番号

4 8 F型	No.
6 5 MSF型	No.

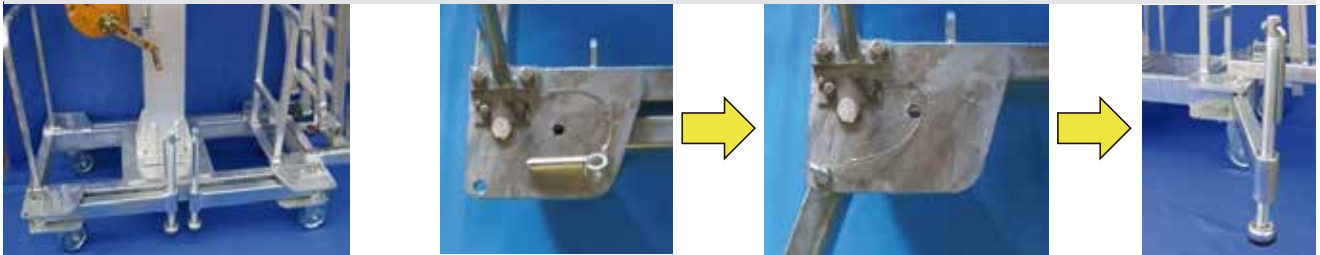
点検年月日 年 月 日

点検者 _____

点検箇所		点 検 項 目	正 常		交換・修理等記入欄
1	ワイヤー		端末部 A 点	端末部 以 外	
		1) 素線切れ有無の確認			
		2) キンクの有無の確認			
		3) 線径の減少の確認			
		4) ドラム部余巻の状態			
2	ウインチ	1) 昇降の確認			
		2) ブレーキの確認			
		3) ハンドルの止めネジの確認			
3	支柱部 手摺棒 梯子部 作業台	1) 変形・亀裂等			
		2) 手摺棒、回転手摺の確認			
		3) 手摺棒ロックピンの確認			
		4) シーブの回転状況			
		5) ガススプリングの作動確認			
		6) 出入口巾木の作動確認			
4	落下防止装置 支柱及び梯子部 セフティーロック	1) ハンドルの確認			
		2) ブッシュの確認			
		3) コマの消耗、割れの確認			
5	シャーシー	1) 変形・亀裂等はないか。			
6	アウトリガー	1) ストッパーピン、キープレートの確認			
		2) ジャッキ、皿部の確認			
		3) ジャッキハンドルの確認			
7	その他	1) ボルトの点検			
		2) ピン、スナップリングの確認			
8	総合作動確認	1) 上昇、下降の作動確認			
		2) 各種表示ステッカーの剥がれ、損耗確認			
摘 用 欄					

リフティー 組立手順書

①アウトリガーの組立



- ・使用場所に移動後、アウトリガーのロックピンを外し、展開した後ロックピンを差し込んでください。
- ・ハンドルを回し、本機の車輪が1~2cm浮く程度までジャッキアップします。
- ・支柱が垂直になっているか目視で確認してください。

②手摺枠の組立



- ・本体梯子側、左右2カ所のロックピンを解除して手摺枠を起こし、再度ロックピンを差し込んでください。

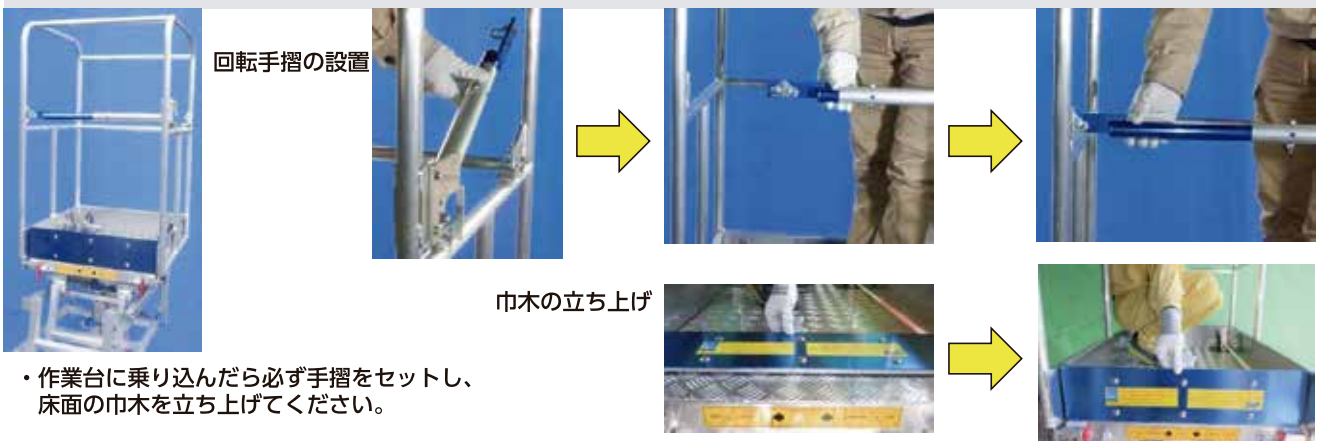
③作業台の昇降



- ・支柱のウィンチ操作で上昇、下降を行います。ウィンチ操作前にセフティーロックが解除されているか確認してください。
- ・使用する高さまでウィンチを回してください。上昇…時計回り 下降…反時計回り
- ・梯子を昇る際に、梯子と支柱に設けられているセフティーロックを下から順に締めながら昇ってください。

※人が乗った状態でのウィンチ操作は事故の原因になりますので絶対に行わないでください。

④巾木、回転手摺の設置

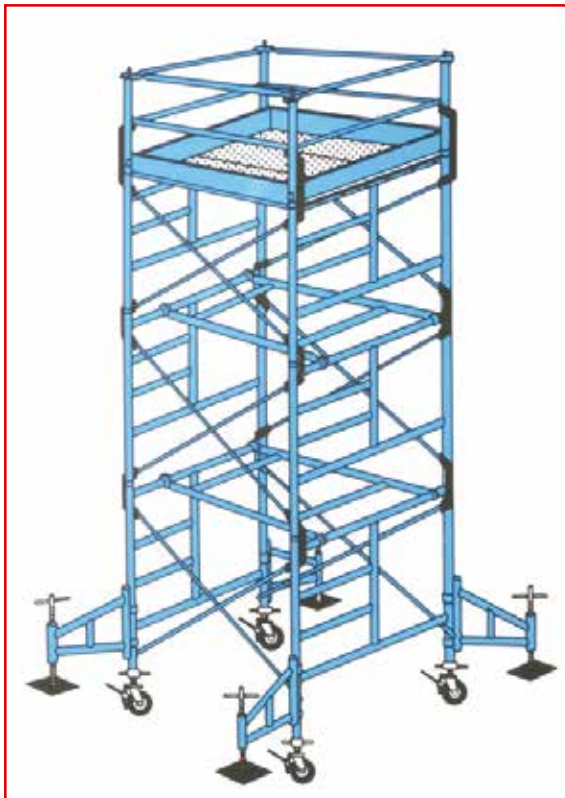


- ・作業台に乗り込んだら必ず手摺をセットし、床面の巾木を立ち上げてください。

※解体の際は、逆の手順で進めてください。

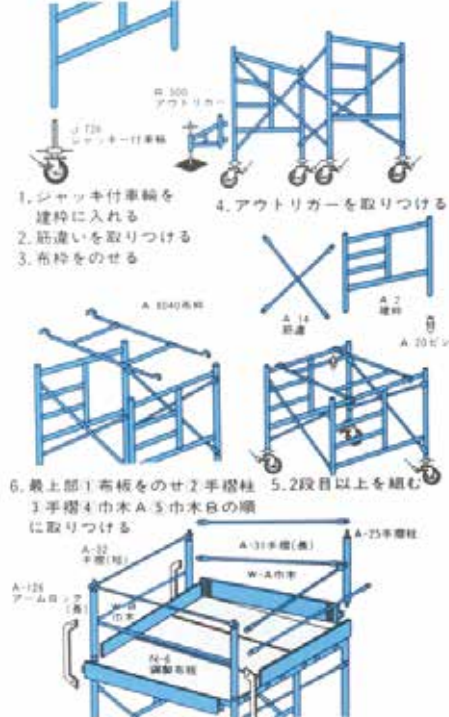
特にセフティーロックの解除忘れにご注意ください。解除せずにウィンチを回すと作業台が落下する恐れがあります。

ローリングタワーは正しく安全に



※中段部は布枠ではなく、布板×2枚でお出ししております。

●正しい組立て順序



●取扱い上のご注意

- 1.作業床、枠組み、脚輪、手摺等の接続部は使用中容易に離脱しない様結合する。
- 2.人を乗せたまま移動しない事。
- 3.やむをえず手摺をはずして作業する場合は命綱を使用する事。
- 4.脚輪のブレーキは移動中を除き常に作動させておく。又効き具合を確認する。
- 5.凸凹又は傾斜が著しいところでは、ジャッキ等により作業床の水平を保持する事。
- 6.許容積載荷重を超えた荷重を乗せてはならない。
- 7.材料等は転倒を防ぐため偏心しないようにのせる事。
- 8.移動式足場の上では、梯子、脚立等を使用しない事。

●安全基準

- 1.作業床の積載荷重は200kg以内とする。
- 2.手摺については高さ90cm以上で中棧付きを使用する。
- 3.作業床はすき間が3cm以下となるよう全面に敷きならべ、又高さ10cm以上の巾木を周囲に取り付ける。
- 4.作業床の高さは脚輪の主軸間隔とに依り次式の高さ以下とする。
 $H = 7.7L - 5.0$ $H = \text{作業床高さ}$
 $L = \text{主軸間隔 (各単位:M)}$
 ●例 $L = 1.5M$ の場合
 $H = 7.7 \times 1.5 - 5.0 = 6.55M$
 ※ **4段迄可能**。それ以上の場合は控わく(アウトリガー)を使用する。
- 5.脚輪の直径は125mm以上とし、ブレーキの完備したものを使用する事。
- 6.昇降設備は踏棧の長さが30cm以上、かつ踏棧の間隔が40cm以下で等間隔である事。
 (建枠A-2使用の場合はこの条件を満たす。)

会社名

作業主任者(指揮者)名